

2006年度 基本方針等承認

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新

5月27日(土)午後3時〜5時、大阪YMCA会館において、会員大会を開催し、123名の維持会員が集いました。2005年度の事業及び会計の報告が行われた後、2006年度の事業計画及び予算が報告され、2006年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明と承認がなされました。また、大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新



奉仕の書表彰者とともに

2006年度大阪YMCA年間聖句 「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。」 (ヨハネの手紙I 4章7節)

＜年間聖句に託して＞
「互いに愛し合ひましょう。でも、その前に……」
日本キリスト教団能勢口教会 早瀬和人

学生時代、ワークキャンプでアジアの国々を旅した際、題名も作者も分からない次の歌に出会いました。
♪♪ Oh! I love you with the love of the Lord.
Yes, I love you with the love of the Lord.
For I see in you, the glory of my King.
Yes, I love you with the love of the Lord. ♪♪
「神さまの輝きが、あなたの中に見えるよ。だから、その神さまの愛でもって私はあなたのことを愛します——」
選ばれた年間聖句。「愛する者たち」との呼びかけで始まっていることに注目です。「愛する者たち」という言葉。私たちの能動的な愛する姿勢が求められているように聞こえますが、実はこの言葉、英語の聖書では“Beloved”。「(神に)愛されている者」という意味です。「互いに愛し合ひましょう」と語る前に、「あなた方が誰かを愛そうとする、それよりも先に私(神)があなた方を愛しているよ、そのあなた方へ」と呼びかけられているのです。「隣人を愛しなさい」と言われても、(愛せない人っているんだよなあ)と嘆く私たちがきつといることでしょう。そんな時にこそ気づかされたい。な〜んだ、私がどうこう思う以前に、私もあの人も等しく神さまに受け入れられ愛されていたんだ。この愛に大いに慰め励まされたいな〜、と。
さあ、次は私たちの番。「愛されているからこそ、互いに愛し合おう」と動かされようではありませんか。

1. プログラムの革新増強を図り、社会の変化と課題に対応する
 2. 人間を考え、育み、リーダーシップを開発する
 3. 健全な財政を構築する
 4. 125年を迎える歴史を誇り、記念事業を整える
- 【2006年度年間讃美歌】
讃美歌第2編 26番
【大会選出常議員】
尾崎 琢磨、金 智重、杉浦真喜子、鈴木 良洋、ト田 啓三、只野 準一、谷川 寛、谷川 俊一、鉄谷 明、長尾ひろみ、中川 善博、長谷川洋一、牧口 望、松尾 博之、梁井 豊、吉川 尚志、【役員表彰】
▼奉仕の書
岡村 恒、丹後 礼、三牧 勉
▼50年継続会員
米澤 保男、若木 正美
- ▼25年継続会員
尾崎 琢磨、井上都志弘、工藤 義正、浜野 昌保、加志 勉、大須賀康雄、池上 正、福田 精一、島並 宏彰、梶田 惇、濱添 吉生、清水 幸一、石丸美奈子、北澤圭太郎、北村 知三、佐藤祐規子、佐藤 潤太、福山 正和、東良學、山内 直、井上 陽子、高山 桂、奥野 孝昭、恩田 紀治、田中 宗興、永野 文規、前田 宏、林 律、丸尾 初子、宮川 昌子、樹井 智之
- ▼新維持会員
公原恵理子、工藤 義正、小川 明彦、児玉 祐一、齊藤 薫、洪 基雄、津田 晃男、三好美有希、野上 慶士、島並 宏彰、立山 英展、岩間みどり、小岩 玲子、柴田 彩加、白田有香里、野田寿加子、東本 雅子、山本 朋美
- (以下敬称略)
会員大会実行委員長 牧口 望

日本YMCA同盟主催 「2006YMCA国際協力フォトコンテスト」 大阪YMCA会員 只野準一さん 金賞受賞!



このフォトコンテストは、全国のYMCAで取り組んでいる、国内外での様々な国際協力交流プログラムの積極的な紹介活動として行われたもので、それらの活動の参加者から写真を募集していただきました。(今年のテーマ:「出会い」「仲間」「平和」「知恵」「喜び」「いのち」)
今年には昨年より多くの作品が寄せられ(33点)、その中から大阪YMCA会員の只野準一さんの作品が見事金賞に選ばれました。只野さんの写真を含めた出品作品はポスターやパンフレットをはじめとする広報物に掲載され、広く一般に向けてもYMCAの国際活動のアピールツールとして用いられます。さらなるご活躍を願い、心よりお祝い申し上げます。
▼金賞 1点
「いつもいっしょにいようね!」
(スリランカ LOVE & AFFECTION キャンプにて)
只野準一氏(大阪YMCA) ※日本YMCA同盟のホームページにも発表と写真の紹介、審査員によるコメント(講評)が掲載されています。



東西南北 第10回らくらく車椅子登山

東YMCA・河内ワイズメンズクラブ共催
河内平野を見おろす生駒山の中腹にある登山道へ車椅子のクラブメンバーを誘ったことから始まる車椅子登山。4月23日(日)に行われた今回で、10回目となりました。参加者も年毎に増え150〜160名の団に膨れ上がりました。

主としてサンホーム入居者の車椅子が17台、緑の少年団(小学生)や意岐部中学生、リッツカールトンのスタッフや阪和部ワイズ等が4〜5名の班になり3km足らずの山道を2時間ほどかけてゆっくりと登りました。

第10回を記念したプログラムとなるよう、まず、地元ケーブルテレビに取材協力をいただきました。他にも、河内ハムクラブの提案で、東大阪市の防災無線基地局を設置しました。これは、緊急時の連絡はもとより、参加者の状況把握に生かすことができました。最後に、車椅子のサポートの他に参加ボランティアに

スポットライトを当てる事でさらに充実感を得ていただこうと考え、今回はパークレンジャーにフィールド解説をお願いしました。これは参加者全員にとっても好評でした。

継続的な活動を行うためには、常に何かを加えなくてはなりません。私たちは更に変化を加味しつつ、今後もプログラムを継続していきたいと思えます。
(田中 雅介・らくらく車椅子登山実行委員長)

大阪YMCA創立記念礼拝

恒例の大阪YMCA創立記念礼拝は、5月27日(土)の会員大会当日に85名の出席者を得て、日本基督教団天満教会の伊勢富士夫牧師に説教をいただきました。

大阪YMCA 100年史には「時に明治15年(1882)6月4日、大阪市内キリスト教徒の有志が相はかって、澤山保羅の兼牧する天満教会会仮会堂(北区樽谷町20)で、『大阪基督教徒青年会』を組織した。これが発足の地でありました。その天満教会(1879年創立)の一信徒であった福谷新七が、当時のキリスト教への迫害にも屈せず1882年に仮会堂を取得するまでの苦難の道のりについて学びました。天満教会は2年間に10カ所以上も転々としながらも、彼は戻込みすることなく、どんなに困難なことであっても必ず神さまによつて扉が開かれることを信じ努力を続けていきました。

また、澤山保羅の生涯についてもお話をいただき、家族を次々と失うなかで、自身も病と闘いながら大阪YMCAや天満教会の創設と発展に力を注ぎ、「体が衰弱しても喜びにあふれている」と神さまの力に頼って短くも偉大な生涯を送ったのでした。

多くの先達が苦難と共に築いた大阪YMCAは、来年2007年に創立125周年の記念の年を迎えます。これからも大阪YMCAは、創立の原点に立ち返り、絶えず祈りをもって、すべての人の手を通した奉仕によつて、より前進していくものとあらためて確信しました。
(浜野昌保・統括本部スタッフ)

